

2025年

2025年1月5日発行(月1回発行)

1

新春特別号

第542号

岡地証券調査情報室編

# 投資情報

年頭ごあいさつ

1

今月の株式市場の見通し

2

1月イベントカレンダー

今月の参考銘柄

3-4

● アンリツ・ノーリツ鋼機・日本特殊・GEエアロスペース

トピックス

5-6

● 今年の相場見通し

● 2025年注目のテーマ集

岡地証券

Okachi Securities Co., Ltd.

## 年頭ごあいさつ



岡地証券株式会社

取締役社長 岡地 泰彦

## 新年明けましておめでとうございます

旧年中は格別の引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。昨年は7月に日経平均が4万2千円という高値を示現しました。国内景気の緩やかな拡大とデフレからの脱却により、安定的な物価上昇と賃金の上昇が実現しました。企業の収益も製品価格の値上げと円安効果により増収増益を維持することができました。株式市場は米国株式の上昇という追い風と新NISAのスタートによって市場参加者が増加したことで年初から7月までは概ね右肩上がりの上昇が続きました。しかし8月に日経平均が1日で4,400円という過去最大の下げ幅、率にして12%という急落に見舞われました。日銀による政策金利の引き上げがキッカケになりました。本年も昨年のような思いもよらない急騰、急落は起こり得ると考えています。株価は為替変動、地政学リスク、政治的要因など予期できない事象によって

乱高下することは避けられないものです。我々は長年に亘り、株式市場と向き合ってきた経験を叡智として、お客様にはタイムリーな情報提供に務めて参ります。

さて弊社では近年、複数の地元信用金庫と業務提携を締結いたしました。双方が有します金融、証券業務のノウハウを活用し、多種多様なお客様のニーズに対応するとともに、地域社会の発展の一翼を担っていく方針です。対面営業を重視する弊社では、新NISAのスタートから、これから投資を始めようとする人々にも投資の基礎から、丁寧に説明していき、若い人たちには将来に備えたマネープランのご相談にも対応して参ります。経済の知識が増えて、投資の楽しさを実感してもらえるような取り組みこそが対面営業の強みとなっていくと考えています。本年も何卒、ご愛顧のほどお願い申し上げます。

## 今月の株式市場の見通し

今月は初旬から、個人がNISA枠を使った現物買いが出やすいとみている。需給面では企業の自社株買いの継続も見込まれ、波乱につながる要素は少ない。一方、米国では10日の雇用統計、20日の大統領就任式などをキッカケに米国株式の変動が大きくなる可能性がある。国内では24日に日銀の金融政策決定会合が行われる。今月は下旬にかけて、市場では緊張感が高まる場面がありそうだ。

## 1月イベントカレンダー(日米版)

月	火	水	木	金
		1	2 ※製造業PMI	3 ※ISM製造業景気指数
6 ※購買担当者景気指数	7 ※ISM非製造業景気指数	8 ※FOMC議事録(日本時間では翌日)	9	10 ※雇用統計
13 ㊤成人の日	14 ※生産者物価指数	15 ※消費者物価指数 ※ニューヨーク連銀製造業景気指数	16 ※小売売上高 ※フィラデルフィア連銀景況指数	17
20 ㊤機械受注 ※キング牧師記念日	21	22	23	24 ㊤日銀金融政策決定会合 ㊤全国消費者物価指数 ※ミシガン大学消費者信頼感指数
27	28 ※耐久財受注 ※リッチモンド連銀製造業指数	29 ※FOMC(日本時間では翌日)	30	31 ㊤鉱工業生産 ※個人消費支出

※上記スケジュールは作成時点のもので、変更になる場合があります。

また、米国企業の決算発表スケジュールは直前まで未定のため、当イベントカレンダーには記載していません。

## 今月の参考銘柄

6754

## アンリツ

総資産1,610億円(135百万株)

## ☆今期業績回復見通し

同社はスマートフォンや基地局向けの通信計測器の製造販売を手掛ける計測事業を柱に、食品・薬品・化粧品などに製品の異物混入がないか検査する装置やシステムを手掛けるPQA事業も手掛けている。足元では、データセンターなどのネットワーク高速化に向けた測定需要が堅調となっている。今後は5Gスマホ向け計測器需要の緩やかな回復に加え、中長期的には6Gなど次世代技術に対する需要の増加にも期待したい。

## 業績動向

(単位：百万円)

決算期	売上高	営業利益	当期利益	EPS	配当
2022/3連	105,387	16,499	12,796	93.9	40
2023/3連	110,919	11,746	9,272	69.9	40
2024/3連	109,952	8,983	7,675	58.2	40
2025/3連予	115,000	11,000	8,300	62.9	40



7744

## ノーリツ鋼機

総資産2,794億円(36百万株)

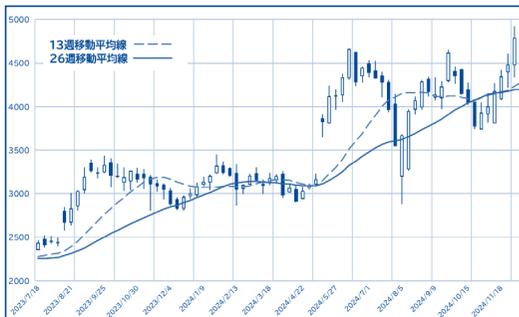
## ☆米国向け好調

写真処理機器を製造する会社として創業した同社だが、現在はM&Aなどを通じ事業転換しており、ペン先部材などを手掛ける「ものづく・部品・材料」事業とスピーカーなどのDJ機器やイヤホン、ヘッドホンを手掛ける「ものづくり・音響機器関連」事業を展開している。来年度を目標とした中期経営計画だが今年度で達成できる見込みのため、来年度2月には新中期経営計画を策定予定となっており、その内容にも期待したい。

## 業績動向

(単位：百万円)

決算期	売上高	営業利益	当期利益	EPS	配当
2021/12連	75,326	10,733	5,299	148.7	198
2022/12連	73,515	1,262	101,548	2,848	152
2023/12連	91,552	14,462	10,199	285.8	115
2024/12連予	104,300	18,700	14,300	400.5	116



5334 **日本特殊陶業**

総資産9,672億円(204百万株)

☆**通期業績見通しを上方修正**

上期の実績では自動車用プラグが欧米向けに堅調だった。前年同期比で数量ベースでは減少だが価格改定の効果が売上げを押し上げた。プラグは新車組付け用よりも補修用の方が採算は高い。補修用のウエイトが恒常的に高まっていくと想定されている。同社は中間期の決算発表時に通期の営業利益の見通しを1,150億円から1,300億円に引き上げた。下期も自動車用製品の売上げ増が見込まれるとともに、半導体パッケージを中心としたセラミック事業も立ち直ってくる見通しである。

## 業績動向

(単位:百万円)

決算期	売上高	営業利益	当期利益	EPS	配当
2022/3連	491,733	75,512	60,200	296.0	102
2023/3連	562,559	89,219	66,293	326.1	166
2024/3連	614,486	107,591	82,646	409.5	164
2025/3連予	653,000	130,000	95,000	477.8	177

GE **GEエアロスペース**

総資産1,630億ドル(1,082百万株)

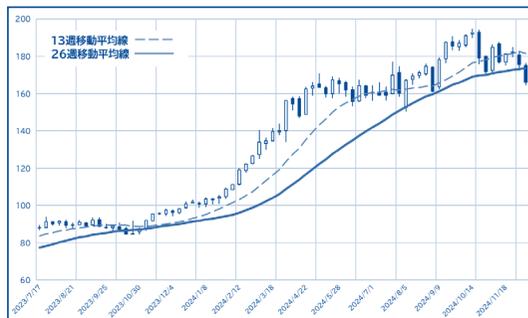
☆**航空機エンジンを製造**

商用航空機エンジン4万4千基、軍用航空機エンジン2万6千基の設置実績を持つ。米国初のジェットエンジンやターボエンジンなどを開発。米国の防衛関連企業の中核。なお以前は発電設備、医療機器なども製造していたが、それぞれを分社化している。なおエンジンについてはスペアパーツの販売と修理、オーバーホールサービスも行う。前期はボーイングのストなどで収益環境は厳しく大幅な減収、減益となる見込み。ただ足元の受注高は対前年同期比で28%増となっていることから今期は増収増益となりそうだ。

## 業績動向

(単位:百万ドル)

決算期	売上高	当期利益	希薄化後EPS	1株配当
2021/12	74,174	▲3,334	▲2.651	0.320
2022/12	58,116	▲862	▲0.342	0.320
2023/12	67,955	9,066	8.349	0.320
2024/12予	34,824	4,924	4.815	0.982



## 今年の相場見通し

### 2024年の相場振り返り

2024年の日経平均株価を振り返ると、年初から3月にかけて33,000円台から40,000円台まで大幅に上昇し、バブル時の最高値である38,195円を上回り、7月には42,000円台まで上昇した。ただ、その後はバイデン政権が日本とオランダに半導体製造装置の規制強化を求めたと伝わり、半導体株中心に株価は下落した。その後、7月31日には日銀が追加利上げを発表し、日経平均は年初の株価を下回る31,000円台まで下落、8月5日には1日の下落幅としては過去最高の4,451円安を記録した。そこから8月下旬には反発し、年後半は35,000円から40,000円程度のボックス相場となった。日経平均株価の過去最高値の更新や過去最大の下落など、歴史に残る1年となった。

### 2025年の主なイベント

2025年の主なイベントとしては、まず、1月20日の大統領就任式が行われる。就任式を経てトランプ次期大統領率いる共和党への政権交代が行われる。トランプ氏は2017年の前回の大統領就任直後に、TPPの離脱やオバマケアの見直しなどの大統領令を発してい

る。今回の大統領就任にあたって予想される大統領令は追加関税である。トランプ氏は大統領就任初日に、大統領令によってカナダとメキシコからの輸入品に25%、中国からの輸入品に10%の関税を課すと発言している。国内では4月から大阪・関西万博が開催される。関西はアジア系を中心に訪日外国人からの人気が高いと言われており、来年はインバウンド需要の更なる増加にも期待できる。

### 2025年の見通し

まず大統領が変わる米国から考えてみると、トランプ氏による大型の減税とFRBによる利下げにより米国株は比較的堅調に推移すると思われる。リスク要因としては、インフレ再燃と中国を中心とした関税の強化があげられる。前回のトランプ政権でも、2018年には中国との貿易戦争の激化で株価が下落した。日本株についても、基本的には堅調な米国株による連れ高に期待したい。ただ、今年のように新NISAなどのトピックスが比較的乏しいと思われるため、インバウンド関連や防衛・防災関連など堅調な需要が見込めるテーマを中心とした個別物色の動きがより強まると思われる。



## 2025年 注目のテーマ集

### インバウンド

訪日外国人数は過去最高！

#### Jフロント (3086)

大手百貨店。傘下のパルコもインバウンド向けが好調。103万円の壁撤廃でも恩恵？

#### トレファク (3093)

古着などを中心にインバウンド需要が旺盛。古着はサステナブル関連としても注目。

### 103万円の壁

減税で手取りが増加か？消費関連銘柄

#### ブロンコB (3091)

ロードサイド型ステキハウス「ブロンコビリー」を直営。増えた手取りで贅沢を。

#### タイミー (215A)

単発・短時間のスキマバイトサービスを提供。働き控えがなくなることで、同社サービスの需要増。

### トランプ大統領

アメリカファースト！  
米国で活躍する企業

#### JPモルガン (JPM)

世界有数のグローバル総合金融グループ。財政拡大による米国金利上昇に恩恵。

#### マネックスG (8698)

暗号資産に対する規制緩和期待。同社傘下に暗号資産交換所国内最大手のコインチェック。

### 気候変動

太陽活動は今年がピーク？  
異常気象関連銘柄

#### WNIウェザー (4825)

世界最大規模の気象情報会社。線状降水帯の発生・兆候をリアルタイムで解説。

#### 富通ゼネ (6755)

エアコンを主力とする空調メーカー。世界的な気温の上昇でエアコンの需要が大幅に増加。

### 大阪・関西万博

2025年最大のイベントか！？  
万博関連銘柄

#### オリックス (8591)

関西国際空港、伊丹空港、神戸空港の関西の3空港の運営を担う。インバウンド需要にも期待。

#### 乃村工藝社 (9716)

展示施設などのディスプレイ設計の最大手。大阪万博でも各国のパビリオン運営で大型受注も。

## 【取引に係る諸経費等】

- 国内の金融商品取引所に上場されている株券の売買を行うにあたっては、約定代金に対して最大1.265%（ただし、最低2,750円）の委託手数料（消費税込）が必要となります。
- 外国金融商品市場等における外国株券の委託取引では約定代金に対して最大1.265%（ただし、最低2,750円）の国内取次手数料（消費税込）と現地委託手数料等（当該諸費用は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その金額等をあらかじめ記載することはできません。）が必要となります。
- 外国金融商品市場等に上場している外国株券の国内店頭取引については、お客様に提示する売買仕切価格に手数料相当額が含まれている為、別途手数料を頂戴することはありません。売買仕切価格は、前日の取引所価格などを基準に合理的かつ適正な方法で算出した社内基準価格を仲値として、仲値と売買仕切価格との差がそれぞれ2.50%（手数料相当額）となるように設定したものです。
- 外国株券の売買等にあたり、円貨と外貨を交換する際の為替レートは、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。
- 株券の売買を行うにあたっては、株価の変動による損失が生じるおそれがあります。
- 外国株券等の取引では、為替レートの変動によるリスクがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ100万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金を上回るおそれがあります。
- お取引にあたっては、「契約締結前交付書面」をよくお読みください。
- 外国金融商品市場等に上場している外国株券等の取引に当たっては、「外国株券等の取引に関する重要事項」ならびに「外国株券等の国内店頭取引について」をよくお読みください。



岡地証券 公式ホームページ

YouTube 公式チャンネル  
<https://www.youtube.com/@okc-sec>

商 号： 岡地証券株式会社  
第一種金融商品取引業者  
東海財務局長(金商)第5号  
加 入 協 会： 日本証券業協会 日本投資顧問業協会  
指定紛争解決機関： 特定非営利活動法人  
証券・金融商品あっせん相談センター